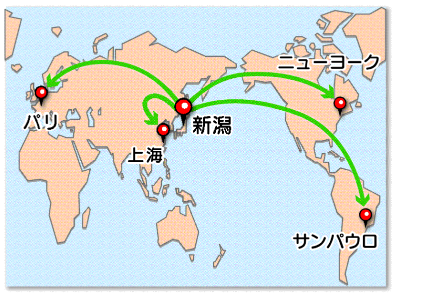
(C)新潟日報社　無断での転載、改変、複製、頒布を禁止します

グローバル にいがた

国際交流拠点から

新潟日報社が開設した米ニューヨーク（ＮＹ）、ブラジル・サンパウロ、中国・上海、欧州（パリ）の国際交流拠点などを通じ、海外で暮らす本県関係者から現地の様子をリポートしてもらい、毎月第１月曜日に紹介しています。また、新潟日報ホームページ「モア」にも掲載し、感想や意見を受け付けています。



第１月曜掲載

---

from パリ

渡辺　アンリ　りか子さん
＝上越市出身＝

音楽家育つ環境充実

フランスが世界に誇る音楽家を次々と輩出してきたパリ国立高等音楽院。フランスのみならず、世界中から来た若い優秀な音楽家が刺激し合い、才能をさらに伸ばすべく毎日練習に励んでいる。

30年近く前は私もここで学んでいたのだが、努力と、幸運にも恵まれて、日本人初の教授として教える立場になってから15年が過ぎた。スターのような演奏家が教授陣に名を連ね、また世界の名だたる国際コンクールで受賞歴のある学生もたくさんいる中で、私自身も勉強になることが多く、随分成長させてもらっていると、つくづく感謝の気持ちがあふれる。

ソルフェージュ（読譜力、音感などを養う訓練）や作曲理論など基礎を固める科目でも、多くて5、6人、時には一対一で各学生に必要なことを能率よく教えることのできる、本当に恵まれた環境だ。

学生の20%は外国人だが、楽器によっては新入生がほとんど外国人ということもある。厳しい試験を突破して入学すると、国籍にかかわらず授業料は無料。最初に登録料を納めるだけで、あとはフランス人の税金で賄われている。フランス経済はガタガタのはずなのに、優秀な才能に対して国や人種を問わないこの寛容さにはいつも感服する。学生の方でも、だから学習意欲がとても高い。

そして、コンクールなどで良い成績を収め、花形スターを育てるだけが目的ではない。次の時代を担う若い音楽家の演奏や作品をたくさんの人々に聴いてもらえるよう、シーズン中は、音楽院内で多くの素晴らしいコンサートやマスタークラスが催され、誰でも聴きに来ることができる。

そのような開かれた環境で、音楽家と聴衆の関係がより近くなる。

創立200年以上の歴史と伝統を守りながらも、時代の動きに敏感で、現代からさらに未来へ向けた視線を常に忘れることがない。フランスの強さの一つだと思う。

9月から新年度。19日に授業が始まる。今年もどんな学生との出会いがあるか、今から楽しみである。

（渡辺さんはパリ在住の作曲家、オルガニストで、パリ国立高等音楽院教授です）

パリ国立高等音楽院で行われているソルフェージュの授業風景。複雑なリズムの取り方の練習をしているところで、学生たちは真剣そのもの

---

from NY

風間　康浩さん
＝見附市出身＝

街の風 自転車で体感

昨年NY転勤となって単身赴任でやって来て、マンハッタン中心部のオフィスに勤め、そこから徒歩15分のマンションとの間を行き来して生活しています。都心に住んでいることを幸いに、私は街の息づかいを感じたくて通勤も日々の生活も主に徒歩と自転車（乗り捨てレンタサイクル）で動いています。

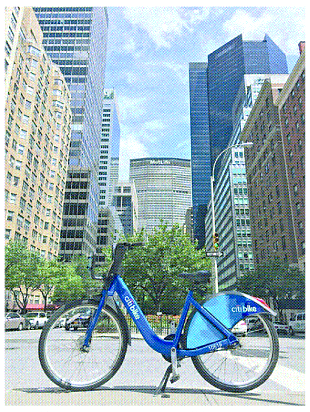
マンハッタンで自転車に乗っていると痛感することが二つあります。一つはサドルの高低差で、いつも前に乗った人のサドルからグンと下限一杯に下げて、アメリカ人の脚の長さとの差、すなわち自分の短足さを痛感しながら走っています（嘆息…）。もう一つは道路の凸凹の高低差で、マンホールが10㌢もくぼんでいたり、コンクリートが割れて裂けていたり、水たまりがあったりとひどい状態で、その荒れた道路からくる振動を痛感しながら走っています。えっ?これが（これで）世界経済の中心地なの?と驚くような道です。

佐渡トライアスロンにも出た高価な自転車をNYに持って来たのですが、凸凹道に合わないので部屋に置いたままにして日頃はもっぱらレンタサイクルに乗っています。そして日本の平らな道路、とりわけ広くてきれいな新潟県の道は素晴らしいなと、振動ごとに故郷へ思いをはせています。道だけ比べたら新潟の方が世界の中心でもいいんじゃないかと思うくらいです。

このように路面は悪いし、冬は新潟よりはるかに寒いし、物価は東京より一段と高いNYですが、それでも多くの人が世界各国から集まってきます。その魅力はきっと豊かさへの夢で、自由の国で豊かになりたい人々のエネルギーが摩天楼さながらに集積して、街の活気を高める好循環になっているのでしょう。だからこそ道が悪かろうが物価が高かろうが構わずに大勢の人が好んでやって来るのだろうと、こちらでのビジネスや徒歩&自転車ライフを通じて肌で感じています。

そんな街の中で私は、ふるさと新潟のエネルギー向上に少しでも役立てればと思い、県産品の消費に貢献すべく、夜な夜なお客さんに新潟の高いお酒を勧めて注いでいます。

（風間さんは1965年生まれ。総合商社に勤務しています）



NY中心部の摩天楼とレンタサイクル

---

from 上海

笠井　政義さん
＝新潟市中央区出身＝

「カフェ」ブーム到来

上海の街並みは猫の目のごとく移り変わる。2400万人の胃袋を目当てに、世界有数の有名レストランから小さな屋台まで多くの店が生まれては消え、街の印象を変化させる。背景には高騰一辺倒の家賃と人件費、新しもの好きの上海人気質も影響している。

日本でもブームの「カフェ」は上海でも活況を呈している。コーヒー消費が、ここ数年でようやく本格化してきたばかりであるにもかかわらず、スターバックスは全中国で2千店舗超となり、約1200店舗の日本をすでに超えた。

おしゃれなカフェでおしゃべりの時間を過ごすのが流行で、味についてはまだ改善の余地がありそうだが、ローカル食が20元前後でいただける場所の1杯30元（約500円）のコーヒーは、かなりのぜいたくだ。商魂豊かな上海の若者が流行を見逃すはずもなく、5平方㍍もない場所でテークアウト専用にしたり、映画のワンシーンのような優雅な空間を創造したりして喫茶を始めている。家族に借金しながら商機とみればすぐに事を始める猛者も少なくない。

展示会にも多くの外国企業が出展し、中国のコーヒー市場へ熱い視線を送る。人口が多い分、市場の魅力は高いが当然競争も厳しい。日本の会社が勝ち残っていくにはものづくりへの真摯（しんし）な姿勢と味へのこだわりはもちろん大切だが、中国では通信アプリ「微信（ウェイシン）」での情報拡散が早く口コミ効果が絶大だ。また支払いもスマホで行うのが主流で、この辺りは日本より先端を走っている。

変化に機敏な消費者にどうしたら自分が関わるコーヒーを選んでもらえるかマーケティング手法も大切だ。通説では1人当たりGDPが5千米㌦を超えるとコーヒー需要が加速するそうだ。中国は2011年に突破して確かに成長カーブは角度を増した。上海は恐らく数年内に日本を上回る市場になろう。そのような都市は中国にたくさん控えている。そんな皮算用を頭に巡らせたくなるのもコーヒーの効用だろうか。おいしいコーヒーをもう1杯飲みたくなった。

（笠井さんは1967年生まれ。総合商社の事業会社である上海の阿露馬珈琲有限公司に総経理として出向しています）

雲南コーヒー（中国産）を売り物にした10平方㍍ほどのカフェでくつろぐ上海市民

---

from ブラジル

佐々木　暁子さん
＝新潟市秋葉区出身＝

日本語、文化伝えたい

世界最大の日系社会を抱える町・サンパウロに住み始めて今年で早くも16年。駆け抜けるように過ぎた月日は、慣れない土地での子育てなど苦労もありましたが、多くの素晴らしい出会いもあった実り多き時間でした。

サンパウロ市は人口1200万人を抱える大都市です。大きく分けて東、西南、北の地区があり、そこからさらに細かく区域分けされています。地区によっては日系人だけではなく日本からの駐在員が多く集まる、さながら「リトル日本」のような地区もあります。日系人たちが持ち込んで栽培されている大根やゴボウ、レンコンなどとともに、現地生産されている豆腐や油揚げなども容易に手に入ります。日本から輸入される食材を扱うスーパーも点在しています。また、和食レストランもブラジル人向けから本格的なものまであります。日本人にはとても住みやすい環境のサンパウロですが、そんなブラジルで近年ちょっとした日本ブームが起こっています。

和食系レストランは倍増。コスプレや漫画ブームとともに日本語を学ぶブラジル人も驚くほど増えました。和食は手巻き専門店や、お肉大国ブラジルでは受けないのでは、と思われていた牛丼店も気付けば若者を中心に人気急上昇。他にもすしやかっぽう料理を楽しめる和食店も、人気スポットの一つとして多くのお客を集めています。

そんな日本ブームの中で、日本語教室の門をたたく方も急増中。私も数年前から日本語を教えています。外国語で母国語を教えることは時に難しくもあり、同時にとてもユニークな体験でもあります。

言葉はそのまま訳して教えれば良いというわけではなく、その文化を深く理解した上での表現の違いなど、言語と同時に文化も伝えなくてはなりません。これまで日本人として「当たり前」であった習慣や風習、文化を、いかに異なる文化を持つ生徒たちに伝えるかという、やりがいのある挑戦は今日も続きます。

（佐々木さんは1971年生まれ。在名古屋ブラジル総領事館勤務などを経て、現在はサンパウロで日本語を教えています）

日本語学校の生徒たち。外国語で母国語を教えるのは難しくもあり、ユニークな体験でもある＝サンパウロ

頑固な便秘に　生薬主配 熊胆成分 配合緩下薬　新アスベン タイワ錠剤　第(2)類医薬品
この医薬品は右記の特約店で、薬剤師又は登録販売者にご相談の上、お求め下さい。

みなぎれ元気!! オットピン（男女両用）爆精シリーズ

栄養補助食品 爆精 粒
カロペプタイド（オットセイ由来）、セレン、亜鉛(Zn)、ガラナ、ハブ、にんにくエキス配合
内容量:180粒　価格:10,000円+税

健康飲料 爆精 液
カロペプタイド（オットセイ由来）、高麗人参、緑茶、ビタミン類配合
内容量:30mℓ×7本　価格:10,000円+税

※在庫状況は、お電話にて右記の特約店にご確認ください。

活き活きの秘訣!! アンデスの壮健植物 マカG Premium プレミアム
栄養補助食品
こんな方におすすめします
●中高年の方の健康維持に　●女性特有の健康生活に
●美容と健康維持に　●食生活が不規則な方の栄養補助に
内容量：約90g／300粒　価格：8,500円+税

＜特約販売店＞ 28-⑧
新潟県内 大手薬品各支店
新潟市東区大形本町4−11−7 くすりのヒロヤ 025-274-6869
〃 東区古川町8−17 クスミ薬局★025-274-8000
〃 南区能登1−12−7 全快堂薬局★025-372-2308
〃 西区五十嵐中島5−1−28 平和堂薬局★025-262-1798
〃 秋葉区新津本町2−2−12 奥村薬局★0250-22-0347
〃 西蒲区巻甲2920 泉源薬局★025-672-2510
長岡市長岡駅ビル1F たまご薬局CoCoLo店★0258-36-3784
〃 与板町与板乙2439-1 エース薬品★0258-72-4684
五泉市駅前1-6-1 井上薬局★0250-43-1087
新発田市大栄町7丁目 湯浅薬局★0254-22-2939
阿賀野市ショッピングセンターウィンディー内 ドラッグホクト★0250-68-5570
〃 緑岡144−7 京ヶ瀬薬局★0250-67-4357
村上市田端町10−8 中安調剤薬局★0254-52-7058
〃 藤沢アコス内 ドラッグさとう★0254-62-2311
三条市元町（古城町通り） 三恵薬局★0256-33-1281
柏崎市えんま通り 石川薬局★0257-24-2235
小千谷市本町1丁目 宮島薬局★0258-82-2209
十日町市駅通り 島田薬局★025-752-2120
南魚沼市浦佐 亀新薬店★025-777-2030
魚沼市横町 マル井薬局★025-792-0209
上越市高田駅前 駅前薬局★025-524-3027
〃 南本町2−7−47 シンケイ薬局★025-522-1277
〃 上越妙高駅前 横山薬局★025-526-0600
佐渡市真野新町 タカノ薬局★0259-55-2053
〃 畑野 畑野薬局★0259-66-2928

男性用外用ホルモン塗布剤
浸透性の良い液状塗布剤!!
効能・効果
●男子更年期及び更年期以降における精力減退、勃起力不全
●早漏　●陰萎　●遺精　●前立腺漏　●精液漏
●男女恥部無毛症　●更年期障害（頭痛、倦怠、記憶力減退）
●男子一般老衰現象の予防及び回復
オットピン　第１類医薬品
内容量：10mℓ　価格：10,000円+税

左記★印の特約店で薬剤師にご相談の上、お求めください。※在庫状況は、お電話にてご確認ください。

16種類の活力源!!効果のある強壮剤!
活力-Mは、強壮生薬13種に男性ホルモンのメチルテストステロン、乾燥酵母、パントテン酸カルシウムを配合した活力を促す滋養強壮剤です。
効能・効果
●肉体疲労　●虚弱体質
●病中病後　●胃腸虚弱
●食欲不振
第１類医薬品
活力-M
内容量：35カプセル　価格：8,400円+税
内容量：65カプセル　価格：13,000円+税
内容量：146カプセル　価格：23,000円+税

S-2-B ■お問い合わせ先・説明書送呈 ハガキに商品名を書き右記へお申し込み下さい。 ムサシノ製薬株式会社 〒188-0002 東京都西東京市緑町1-4-26 0120-62-6340 月〜金曜日（土・日・祝は除く）午前9時から午後5時まで http://www.musashino-p.co.jp/